

栗東市子ども・若者施策の課題について

栗東市子ども・若者施策について、基礎調査とは別に、委員の皆さまのご意見から課題を整理したく、下記テーマ別の課題の検討をワーク形式（個人ワーク+ペアワーク）で実施いたします。

つきましては、参考に関連情報を一部抜粋しましたので、事前にご参考いただけますと幸いです。

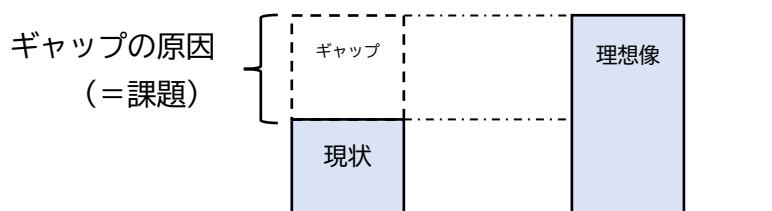
【テーマ】

A. 子育て : 現行の「子ども・子育て支援事業計画」において課題点をまとめている分野のため、現行計画上の課題点を下記にまとめています。

当日は、現行計画の課題を紹介しますので、こども計画に向けて現行計画以外に新たな課題があれば、ご意見をお願いいたします。

B. 子ども : 本市で全体を網羅した課題検討が細かくできていない分野のため、本市や全国的な現状（事実面）の一部を抜粋し、裏面にまとめています。

当日は、現状や皆さまがお持ちの情報を参考に、皆さまが考える理想像とのギャップの原因（課題）について、ご意見をお願いいたします。



現行計画（子ども・子育て支援事業計画）を基にしたテーマ【課題ベース】

テーマ	市の現状課題	課題点の詳細
A. 子育て	母子保健	妊娠から子育てまでの切れ目ない支援が必要
	保育・教育	公共施設の利活用、質の確保向上、多様化する家庭への保育サービスの取り組みが必要
	子育て相談	孤立しないため、講座や気軽な相談体制、仲間づくりが必要
	情報発信	広くわかりやすい発信、プッシュ型通知、サイトやアプリ・SNSの活用の取り組みが必要
	経済的支援	教育・子育てにかかる経済的負担の支援、暮らしが苦しい家庭への支援が必要
	様々な支援	個々の課題に対応した多職種他機関協働やアウトリーチ支援が必要
	ワークライフバランス	仕事と育児が両立できる柔軟な働き方、育児休業等が取得しやすい環境づくりが必要
	まちの安心安全	犯罪事故防止と公園や歩道等のまちの整備の推進が必要
	その他	上記に関わらず、自由な視点から課題をご検討ください。

現行計画ではピックアップの少ないテーマ【現状ベース】

テーマ	詳細	現状整理	
B. 子ども	当事者の意見表明・参画機会	(全国調査)	表明機会があると感じる人は、若い年代(～20代)ほど多い傾向
	子ども・若者の視点にたった居場所づくり	(市内の声)	小中学生の遊び場に関する声 (夏季の猛暑は外で遊べない、児童館に行きにくいなど)
		(市状況)	親の共働きに伴う居場所づくり (保育需要と連動した子ども視点での居場所づくり)
		(全国調査)	興味のある内容が含まれた居場所や、通いやすさに繋がる居場所を希望する人が多い傾向
		(全国調査)	家や学校以外の居場所を必要に感じない人が3割
	子どもの貧困	(全国状況)	体験機会への影響 (修学旅行の欠席、習い事の未体験)
		(全国状況)	食事機会への影響 (朝食が無い、休日の食事が簡素など)
		(全国状況)	学習機会への影響 (家で勉強を見てもらえない、授業以外の学習機会が作れない)
	その他：上記に関わらず、自由な視点からも課題をご検討ください。		
C. 若者	当事者の意見表明・参画機会	(全国調査)	表明機会があると感じる人は、若い年代(～20代)ほど多い傾向
		(全国調査)	社会の為に役立つことがしたいと考える人が8割
	子ども・若者の視点にたった居場所づくり	(市状況)	若者向け居場所づくりの不足・分散 (重層支援、障がい者支援、生涯学習)
		(全国調査)	興味のある内容が含まれた居場所や、通いやすさに繋がる居場所の希望が多い傾向
		(全国調査)	オンライン空間(SNS 含)を居場所と感じる人は、子どもより若者世代に近づく方が多い傾向
	その他：上記に関わらず、自由な視点からも課題をご検討ください。		